

# 文化協会創立10周年を迎えて

桑名市文化協会会長 加藤 藤夫

桑名市文化協会が十周年をむかえ  
た今年度に、思いも寄らぬ会長を選  
出されてしまいました。自分として  
は、補佐することはできても会長と  
いう器にはほど遠いと感じています。  
しかし、選ばれた以上、会員三千名  
余の桑名文化協会の顔として、任期  
中及ばずながら全力をだして努力を  
して参ります。よろしくご指導のほ  
どお願い申し上げます。

さて、今年の事業は、「協会創立  
十周年記念市民芸術文化祭」がメイ  
ンです。すでに実行委員会が昨年か  
らスタートしており、骨格も完成し  
て、いよいよ肉付けに入ろうとして  
います。「会員が一堂に会する」と  
いうことと、「多くの市民・観客の  
皆様へのアピール」という二つの觀  
点から、会場もコミュニティ広場で  
の開会となりました。是非この文化  
祭を会員各位の協力を得て成功させ  
たいと思います。そして、十一年目  
からの活動を飛躍的に発展させたい  
と念じております。ご協力を重ねて  
お願い致します。

## 新役員紹介



会長

加藤武夫さん



副会長(企画担当)

今村和子さん



副会長(広報担当)

西村邦彦さん



副会長(総務担当)

水谷正さん



副会長(文化祭担当)

森一蔵さん

記念すべき10周年の年に役員として選任されたのは、この方々です。

平成15年9月15日

第14号

桑名市文化協会  
桑名市中央町2丁目37  
TEL 24-1361

## 街の彫刻家

美術部門 牧野京二  
(彫創会)

## 文化活動の輪

地域文化の振興・発展と交流をめざす桑名市文化協会が、市内の様々な文化活動を探り上げて紹介していくことを企画したコーナー。今回は、街の彫刻家として活躍の笠井幸弘さんについて紹介させていただきます。

賞されています。

このように数々の賞を授与された笠井さんは今年七十一歳。彫刻を始めた時は、既に六十歳を過ぎてからのことでした。

『ステンレスの達人』笠井幸弘さん

笠井幸弘さん

笠井さんと彫刻との出会いは、八年前ほどの事でした。自営のステンレス加工を趣味に活かせないかと教えていた矢先に、知人より彫刻の講座を知られ、参加した事が始まりました。

講師の吉村寿夫先生の熱心な指導の下、今まで何気なく見てきた日常的な風景を、彫刻という眼鏡を通して様々な立体造形として見るようになってきた、と感じたそうです。

特に、吉村先生から「単に見えるものを追うのではなく、目に見えないものを創造する事で、心が求めているものを形にする。」との教えを受け、数々の抽象作品が出来あがりました。

平成十年の市民展に初出品した作品が、見事市長賞を受賞。翌十一年は議長賞を、同年の県展では新人賞となる岡田財團賞に輝きました。二年の市民展では再び市長賞を、同年的県展では町村会長賞を受賞されました。十三年からの市民展では無鑑査出品となり、今年十五年からは招待作品となりました。又、昨年の県展では「すばらしきみえ賞」を受

賞されています。ステンレスは、無機質で冷たい印象を持つ素材ですが、そこに作者である笠井さんの熱い情熱が入り込み、見る人の心がなごむ温かな作品に生まれ変わります。

今や仕事では現役を退かれ、これからは好きな彫刻にゆっくりと時間をかけられる、語る笠井さんの頭の中には、きっと次の作品の構想が生まれている事でしょう。

初出品市長賞  
「トリップル98」

笠井幸弘さん

平成15年  
招待作品  
「生命」



# 桑名市文協10周年記念行事

## 第12回 桑名市民芸術文化祭

# !!野外に集まろう!!

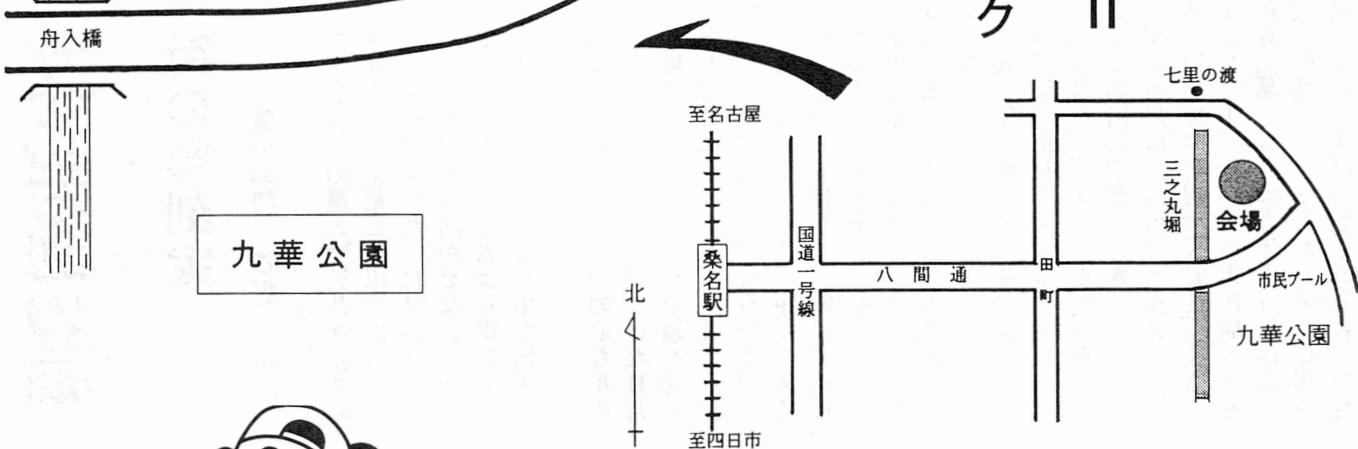
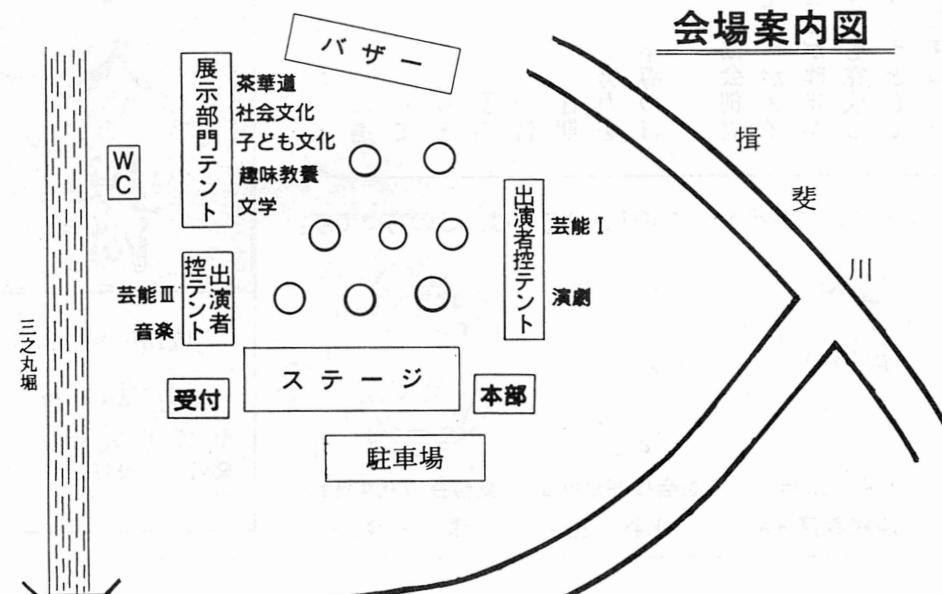
11月2日(日)・桑名市吉之丸「ミニユニアティパーク

桑名市文化協会は十周年を迎えるました。各部門、秋の文化祭を中心に発表会を持ち、すばらしいとりくみをして来ました。

今年は、その十周年を記念して、十一月二日(日)桑名市吉之丸「ミニユニアティパーク」の野外ステージに集まるうござりました。

野外ステージを舞台部門が中心に発表し、回りを展示部門がかこんで発表します。野外ステージの反対側では、商店の皆さんにバザーをしてもらいます。会員の皆さんが全員参加し、交流下さい、市民の皆さんにも楽しんでもらいましょう!

会場案内図



今回の目的・意義は舞台を中心、各部門のすばらしい発表をじっくり見るとともに、会員相互が交流し合うことです。と同時に、広く市民に公開することです。発表する会員だけの参加ではなく、一人でも多くの会員の参加と市民の参加を呼びかけて下さい。

桑名市文化協会は十一部門、三千人の大きな組織です。同じ協会員でありながら、隣りの部門の発表を見ることがあまりありません。

会員の交流と  
市民に公開!

## ステージは桑高吹奏楽部と子ともなハーバード・ヨーント

ステージのメインは、十二時半からの十周年記念セレモニーと桑名高吹奏楽部の演奏と子どもモダンバレーのジョイントです。桑名県大会でも入賞するレベルの高いバンドです。また、ジョイントするモダンバレーも県・東海地区のイベントにも参加し実績を持っています。会場いっぱいに子どものダンスの花が咲くことでしょう。

記念式典のセレモニーは、会長と来賓挨拶と来賓紹介になります。午前中の舞台は、実行委員長の開会宣言の後、昨年韓国公演した、劇団すがおによる狂言「裸の殿様」です。贅沢な殿様がめずらしい衣装に騙され、最後は何も見えない金子で相手をやりかえす……と言つ楽しくて、判りやすい狂言です。昼前の芸能Ⅰ部門の出しものは、すばらしい声による民謡と日本舞踊の一端を披露してくれます。午前中は古典芸能の発表になると思われます。

メイン行事の後は、マンドリン

### 記念文化祭野外ステージ・プログラム

- 10:00～ 開会挨拶、演劇の「狂言」
- 11:30～ 芸能Ⅰの「民謡」と「日舞」
- 12:30～ セレモニー、記念行事「吹奏楽とダンス」
- 13:30～ 音楽の「マンドリン」
- 14:00～ 飛び入り 演劇の「高校生パフォーマンス」
- 14:30～ 芸能Ⅲの「ジャズ・モダン・フラダンス・フラメンコ」
- 16:30～ クロージング (閉会挨拶など)

演奏です。静かな音色から、心ひとつになった演奏はすばらしいものがあります。きっと会場をうつとりさせてくれることでしょう。

その後は、高校生の飛び入りパフォーマンス。女子高生の色気と元気な演技が期待できます。最後の出し物は、ダンスのオンパレードです。激しいジャズ、モダン、フラダンス、そして情熱のフラメンコです。会場からの手拍子が聞こえて来そうです。遅くとも四時半には閉会宣言となります。

### 第12回桑名市民芸術文化祭プログラム

日 時	催 物・開催場所等
11/2(日)・11/3(祝) 10時～16時	華道展 六華苑 洋館・番蔵棟・会議室
11/3(祝) 10時～15時30分	お茶会 六華苑 一の間：表千家流 芝生広場野点：遠州流
11/9(日) 10時～17時	吟剣詩舞道の祭典 市民会館 ホール
11/16(日) 9時～18時	芸能の祭典 市民会館 ホール
11/21(金)～11/24(月) 21日 13時～17時 22～24日 10時～17時	美術展 コミュニティプラザ 中会議室・小会議室・ロビーサークル室
11/23(祝) 13時～17時	パワフル・ダンシング 2003 市民会館 ホール
11/23(祝)～11/24(休) 23日 9時～16時 24日 9時～15時	伊勢型紙による年賀状作り 六華苑 会議室
11/23(祝)～11/24(休) 10時～16時	百人一首かるた競技 六華苑 一の間



舞台発表の合間に、短歌、俳句、川柳を投詠投句し展示したり、手工芸の体験、囲碁将棋に参加。また、景品も出る「マナークイズ」、「空どぶ円盤」の作成や美味しい抹茶と生菓子もあります。

バングラディッシュ視察のパネル展示と識字支援活動の紹介もあります。又、商店街の皆さんによる食べ物、飲み物バザーも楽しみです。

見えたある展示と  
食べ物中心のバザー

桑名市文化協会育成補助金の申請  
に基づき、本年度の補助金支援事業は左のとおりとなりました。

この中から、すでに事業活動を終えたくわな市民コーラスと彫型画サークルから、活動報告を兼ねて御寄稿いただきました。

団体名	事業内容	開催期日
桑名邦楽協会	第35回記念桑名邦楽大会	15.4.6
くわな市民コーラス	くわな市民コーラス 第11回演奏会	15.6.8
彫型画サークル	第11回彫型画桑名展 (伊勢型紙)	15.7.9~7.13
ぐるうぶ雑創	第22回ぐるうぶ雑創展	15.8.13~8.17
桑名吹奏楽団	創立30周年記念桑名吹奏楽団 第30回定期演奏会	15.9.7
文化協会文学部門	文化協会10周年記念 合同作品集の発刊	15.10
トーンポップスオーケストラ	15周年コンサート	15.10~12
桑名少年少女合唱団	桑名少年少女合唱団 おんがく会	16.3.21

## 平成15年度桑名市文化協会育成補助金支援事業の中から



### 演奏会を終えて

音楽部門 三田 亮子  
(くわな市民コーラス)

去る六月八日、私達は「第十一回演奏会」を無事終えることが出来ました。これも、皆様の御支援の賜と感謝いたしております。聴衆の方々も、私達と共に、楽ししく、感慨深く聞いていただけたとの事、そして、クラリネットソロステージや個展も好評で、楽しんでいただけた事も、大きな喜びでした。

新しい歌に出会う度、練習を重ねる度に、新たな感動や発見があります。今回は、歌の、言葉の、

ありがとうございました。  
ありがとうございました。

### 彫型画桑名展を顧みて

趣味教養部門 川合 四郎  
(彫型画サークル)

彫型画桑名展も第十一回を数える事となり大変嬉しく思います。これも関係官庁を始め、皆様の御力添えの御蔭と深く感謝いたして居ります。

今回も七月九日から十三日迄の五

日間でしたが、天候にも恵まれて期間中に約六百二十名にものぼる来館者がありました。七月十日には彫型画会の大杉華水先生に御来館いただき

き各作品に対するご講評を頂き全員今後の作品を作る上に大いに参考にして行けることと思いました。出展作品も年々大型となり、出品者の努力の跡が見受けられました。来館者も各コーナーでゆっくりと時間を掛けて鑑賞していただきました。今回は会員の手造りに依る珠を、来館者それに配り大変喜ばれました。

今後共回を重ねて開催して行ける様に皆様の御力添えを御願いいたします。



第4ステージ「My favorite songs」より

## 文化人をめざそう!!

文化協会は、文化の真髄を追求する人たちの集まりです。こういうと、何か固苦しく聞こえますが、毎日の生活の中で時間の余裕がでたとき、また忙しい中にも時間をみつけて、自分に興味を持った



お茶席でのお手前様子

事や関心のある事を学習したり、習い事に励んだりして趣味の時間を持つと、物の見方・考え方に対する幅が開けたり、心に潤いが湧いてきたりします。また同じ趣味を持つ仲間が増えるのは誰しもうれしいものです。

今回、茶道（松尾流）の方から、茶道の入門的な知識等について原稿を寄せて頂きました。これを読んで関心を持たれた方、ぜひお茶の一部をたしなまれてはいかがですか？

昔から何か一つの事を聞く、一つの事を成し遂げたいと思う時、まず自分から進んでその道に誠心誠意当る事と思います。

お茶に限らず世の中のことはすべて心と形の二つの面がある様に思います。何を考えているのかわからない、又形にばかりとらわれて伝えたい事がはつきりしない、それでは人の心を動かす事は出来ないと思います。形と心が両々相まって茶道というものがあると思

### 茶道へのいざない

茶華道部門 堀田 宗敬

（松尾流）



昨年文化祭での野点茶席の風景（上）と

月釜茶会の行われる六華苑離れ屋（右）



います。お茶をおいしく飲もうと思う時、ひとりではなく友達とか仲間といっしょに静かな雰囲気の中、お客様の為一生懸命お点前をされる方、寒い時は暖かく暑い時はすぐやかに持て成し、お客様もその心を思い相手方の心遣いに感謝しつゝ、静かな雰囲気の中、和やかにお互いを思いやる心持ちこそ何より大切な事だと思います。忙しい今の世の中、例え僅かな時間でも、出されたお菓子お茶をゆっくりと味わい、思いやりの心を持

つ大切さ、これがお茶の心であり、茶道であろうと思ひます。

# 桑名ええとこ再発見

社会文化部門  
大河内 浩

## 「桑名城蟠龍櫓」

(個人会員)

現在、水郷桑名の花火大会の打ち上げ場所となっている十万山(川の中州)は、かつてはずっと南、赤須賀の対岸あたりまで続いており、右岸の桑名市街から浜の地蔵龍福寺にかけてとの間を、一名桑名川と呼ばれていたことを知っている人は少ないと思います。この桑名川の起点、七里の渡し場は、川を縦に眺めることができる地形で、この地形を上手に堀の代わりとして利用して作られた桑名城は、その形状から別名「扇城」とも呼ばれました。

遠く養老山渓を見渡すと、江戸時代に桑名十景の一つとして詠まれた「多度帰雲」の光景が、時を経ても変わらずに生き続けていることに感慨を覚えます。

東海道五十三次の宿場絵図に神宮鳥居とともに描かれた桑名城の隅櫓は、蟠龍櫓(ばんりゆうやぐら)であると言われます。鬼瓦のあるところに蟠龍(はんりょう・天に昇る前地を爬う竜)の彫り物が飾られ、魚も恐れて集まらなかつたと伝説される蟠龍櫓、今年三月に展望室を備えた水門管理所として復元・新設されました。



新設の蟠龍櫓(水門管理所)、左手には川口水門、右手遠くには多度山が見えます

美術部門 家田 清登  
(個人会員)



スケッチブックに描き込まれた

モチーフを見つめ構成を練っています。自分の個性、技術、感性を尽くして、イメージを膨らませ、アイデアを捻り出し、抽象画に挑んでいます。

以前は、写実が主体の日本画を描き、一呼吸一筆の、細く美しい線を一心に引いておりました。同時に、水墨画、水彩画、パステル、版画、立体造形、書道等、各分野

の先生の御指導を受け、多くの知識を授かり、それ故、今年七月には、「絵手紙を楽しもう」を開催出来、多くの人々に感謝あるのみです。

保育園、絵画教室、婦人サークル、学校での指導の日々を過ごし、今までに、目の前の大きなキャンパスに、取り組もうとしています。  
“さあ、描こう！ 油絵を”

委員	広報担当常任理事	西村 邦彦
文学部門	根来 育	
美術部門	牧野 京二	
音楽部門	日置美知代	
芸能I部門	松尾 廣文	
芸能II部門	谷口八洲江	
芸能III部門	伊藤 好子	
茶華道部門	上木美代子	
演劇部門	小川 秀樹	
社会文化部門	大河内 浩	
趣味教養部門	岡野 明美	
子ども文化部門	小松理英子	

編 集 後記

例年になく雨の多い夏の会議室。少し趣向を変えたいねと各自思うところを出し合って「桑名文協」第14号が出来上がりました。いかがでしたでしょうか。ひとつひとつ記事を通してこの文化協会の活動を身近なものに感じただければ本当に嬉しいです。

さて文化協会10周年記念行事まであと二ヵ月足らずとなりました。みなさんのご協力のもと、大いに盛り上がりますように。十一月二日が晴天でありますように。編集委員一同心より祈っております。

